

Ⅱ 教育をめぐる現状と課題

1 教育を取り巻く環境の変化

「10年ひと昔」というが、今の時代の変化はどうか。2年もすれば、人が変わり、仕組みが変わり、世の中が変わっている。まさに「2年ひと昔」という感がある。

急激な少子高齢化、情報化、グローバル化の進展の中で、オックスフォード大学教授の「今ある職業の50%が今後20年以内で消えてしまう（2014年）」というレポートに社会は衝撃を受けた。

これまで、本市教育においては、子どもたちの学力や体力の向上、豊かな心の醸成等に着実に成果を上げてきた。

しかし、将来の変化を予測することが困難な、これからのグローバル社会の中で生き抜く人材には、さらに「チャレンジ精神」や「創造性」が求められる。さらに、さまざまな価値観や背景を持つ人々が、相互を尊重しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験のない問題について、深く考え、合意形成を図りながら課題を解決する力を培うことが必要である。つまりこれからは「自分の力で考え発信し行動する人材」が求められている。

このような資質を育てるために、教育の果たす役割は極めて大きく、社会の教育に対する期待はますます高くなっている。

また、教育は、学校教育だけで完結するものではない。教育を生涯学習という観点から捉え、家庭教育、学校教育、社会教育が互いに連携し、その役割を果たすことが重要である。そして、若者、高齢者を問わず、個人の発達段階やその時々にな置かれている状況を踏まえつつ、生涯を通じて学び続けることが不可欠である。

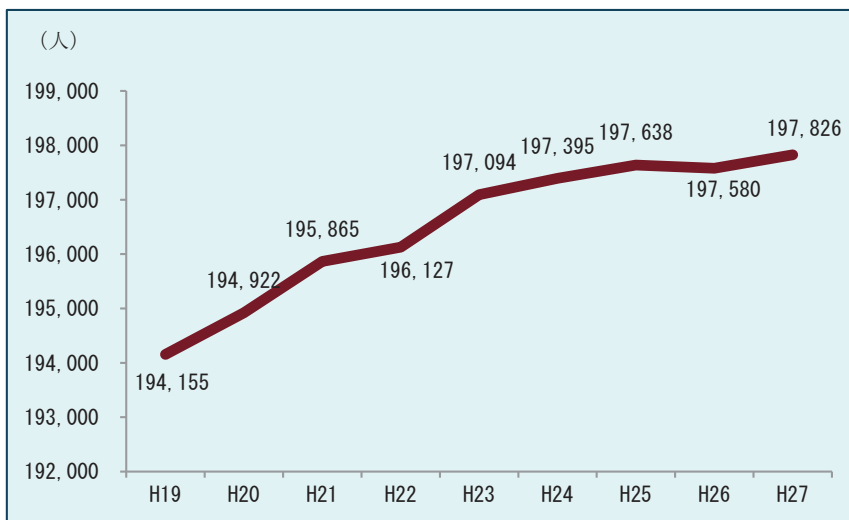
「地方創生」の観点からも、学校を核として、学校と地域が協働・連携した取組や地域視点を活かした教育活動を進めることが必要である。まさに、「伊丹創生」は市民一人ひとりが教育を「他人事」ではなく、「伊丹の未来のための自分事、みんな事」として捉えることから始まる。そのようなことから、全ての小中学校に学校と地域が協働・連携する体制を構築するとともに、地域を担う人材の育成につながる教育を推進する。

2 伊丹市の現状

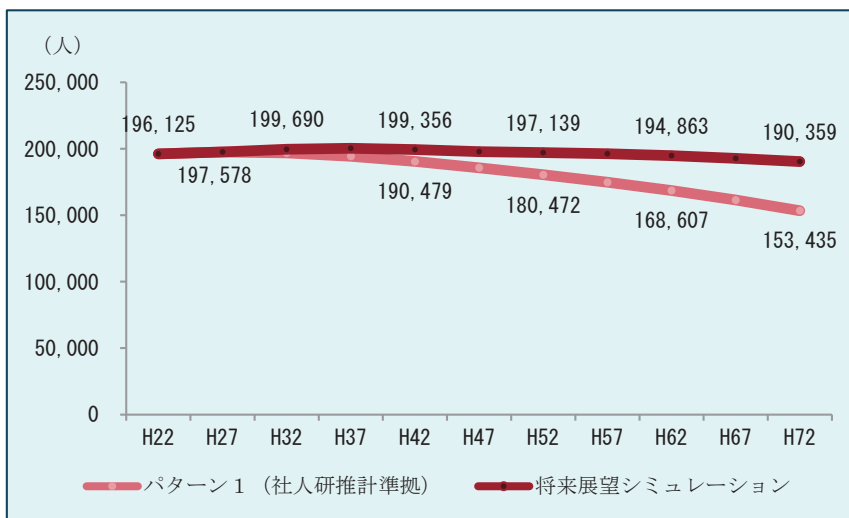
(1) 人口の推移

伊丹市の人口は、平成19年から平成27年にかけて約1.9%増加しており、平成27年現在、約19万8千人となっている。ここしばらくは微増傾向が続くが、平成72年には、約15万人になるとの予測もある。

伊丹市統計情報による人口推移



伊丹市の人口の将来予想



(2) 学校

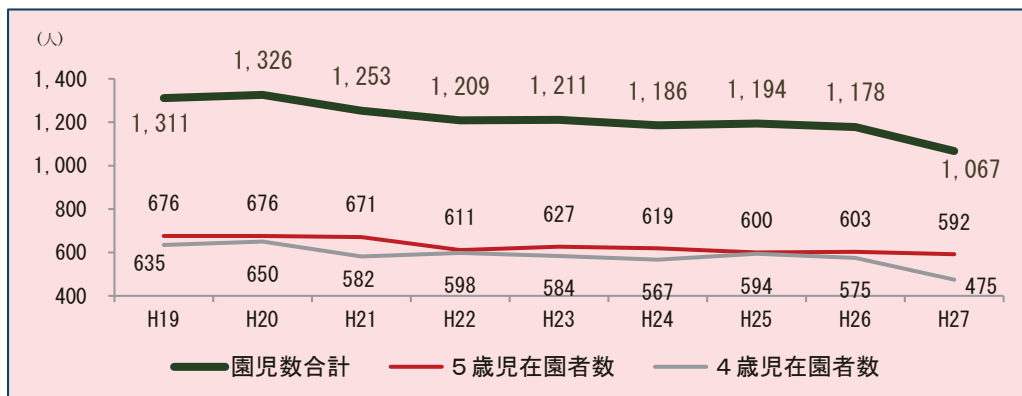
① 市立幼稚園

市立幼稚園の就園者数は、1,200 人前後、就園率 30%程度で推移してきた。

しかし、ここ数年、基礎幼児数の減少や保育所ニーズの高まりから、園児数は減少傾向にある。

平成 25 年度には、子ども・子育てのニーズに対応するために、神津幼稚園と神津保育所を一体化した、神津こども園を設置した。

市立幼稚園の園児数

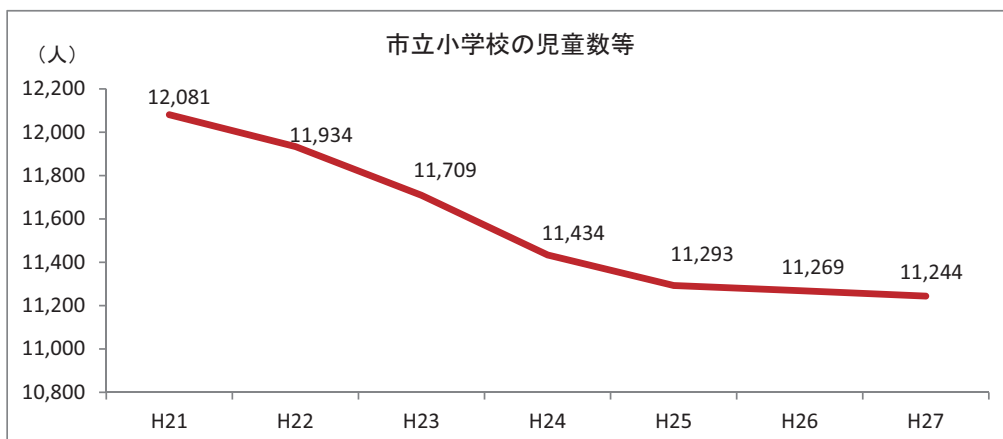


② 市立小・中学校

市立小学校 17 校の児童数は、近年微減傾向にあったが、最近は、ほぼ横ばいの状況である。また、市立中学校 8 校の生徒数は、微増傾向にあったが、平成 25 年度からは、微減傾向にある。

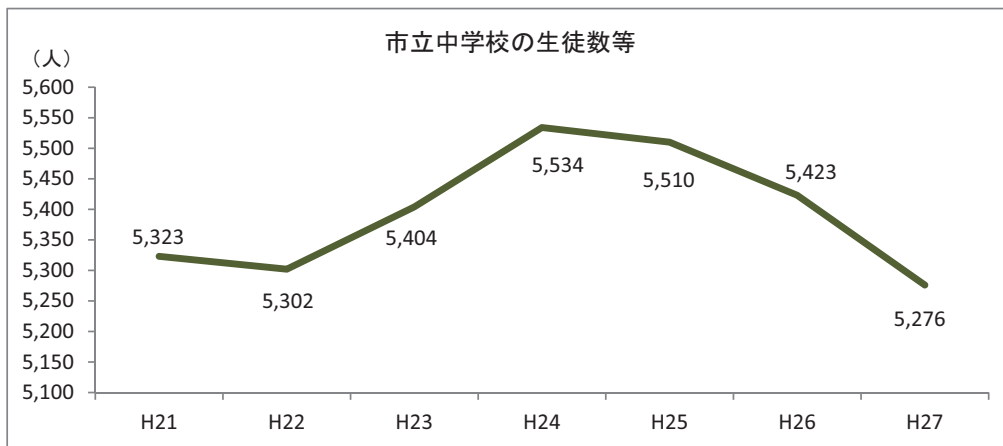
市立小学校の児童数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
児童数計	12,081	11,934	11,709	11,434	11,293	11,269	11,244
児童数	11,863	11,707	11,470	11,184	11,025	10,976	10,928
(特別支援学級)	218	227	239	250	268	293	316
対前年増減数	△ 107	△ 147	△ 225	△ 275	△ 141	△ 24	△ 25
学級数計	427	423	417	409	408	412	416
学級数	374	367	359	353	350	350	347
(特別支援学級)	53	56	58	56	58	62	69
対前年増減数	△ 5	△ 4	△ 6	△ 8	△ 1	4	4



市立中学校の生徒数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
生徒数計	5,323	5,302	5,404	5,534	5,510	5,423	5,276
生徒数	5,260	5,243	5,338	5,463	5,441	5,348	5,197
(特別支援学級)	63	59	66	71	69	75	79
対前年増減数	94	△ 21	102	130	△ 24	△ 87	△ 147
学級数計	162	162	167	170	171	168	164
学級数	141	143	144	147	147	145	142
(特別支援学級)	21	19	23	23	24	23	22
対前年増減数	4	0	5	3	1	△ 3	△ 4



③ 市立高等学校

平成 21 年度までは、1 学年 6 学級編制であったが、平成 22 年度から順次 1 学年 7 学級編制とした。

市立高等学校(定時制)は、平成 26 年度末で県立阪神昆陽高等学校に統合し、閉校した。

市立伊丹高等学校の生徒数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学級数	18	19	20	21	21	21	21
生徒数	685	751	789	826	831	831	833
前年度増減数	23	66	38	37	5	0	2

④ 市立特別支援学校・特別支援学級

児童生徒数及び学級数は、微増傾向にあったが、平成 27 年度はやや減少した。市立小・中学校の特別支援学級の児童生徒数は、増加傾向にあり、特に小学校は、著しく増加している。

障がいの種別では、知的障害、自閉・情緒障害等児童生徒数が増加している。

伊丹特別支援学校児童生徒数等

区分		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		(学級)						
学級数	小学部	3	3	3	4	5	4	4
	中学部	3	3	3	2	2	4	3
	高等部	3	3	3	4	5	5	4
	合計	9	9	9	10	12	13	11
		(人)						
児童生徒数	小学部	6	6	7	10	12	9	9
	中学部	7	6	5	3	3	9	7
	高等部	7	8	8	7	8	8	7
	合計	20	20	20	20	23	26	23

特別支援学級児童数等（小学校）

区分	H21	H22	H22	H24	H25	H26	H27
(学級)							
学級数	52	56	58	56	58	62	69
(人)							
知的	101	104	116	126	130	139	144
肢体	20	24	21	18	23	23	30
病弱	0	1	0	0	0	0	1
弱視	1	2	2	1	1	0	0
難聴	8	6	7	2	3	4	4
言語	0	0	0	0	0	0	0
自閉症・情緒	85	90	93	103	111	126	137
合計	215	227	239	250	268	292	316

特別支援学級生徒数等（中学校）

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
(学級)							
学級数	21	19	23	23	24	23	22
(人)							
知的	39	33	36	33	35	37	52
肢体	5	4	8	8	9	5	4
病弱	0	0	0	0	0	0	1
弱視	0	0	0	1	1	1	0
難聴	4	6	6	7	4	4	0
言語	0	0	0	0	0	0	0
自閉症・情緒	15	16	16	22	20	28	22
合計	63	59	66	71	69	75	79

(3) 教科に関する調査

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率は、小学 6 年生は、ほぼ全国平均、中学 3 年生は、全国平均をやや上回っている。

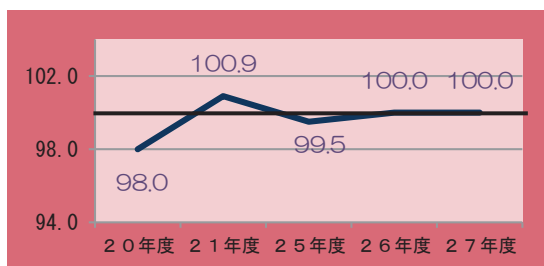
経年変化においては、小学 6 年生は横ばいだが中学 3 年生は上昇傾向にある。

全国学力・学習状況調査における平均正答率

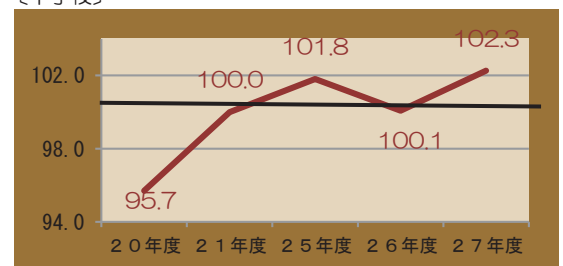
区分		H20	H21	H25	H26	H27	
小学校	国語 A	伊丹	64.1	71.9	61.9	75.4	70.6
		全国	65.4	69.9	62.7	72.9	70.0
		全国差	△1.3	2.0	△0.8	2.5	0.6
	国語 B	伊丹	49.0	49.8	48.7	54.1	63.9
		全国	50.5	50.5	49.4	55.5	65.4
		全国差	△1.5	△0.7	△0.7	△1.4	△1.5
	算数 A	伊丹	71.3	79.4	77.4	78.1	75.1
		全国	72.2	78.7	77.2	78.1	75.2
		全国差	△0.9	0.7	0.2	0.0	△0.1
	算数 B	伊丹	51.1	55.1	58.4	57.0	45.9
		全国	52.2	54.8	58.4	58.2	45.0
		全国差	△1.1	0.3	0.0	△1.2	0.9
中学校	国語 A	伊丹	71.3	76.9	77.2	79.4	76.9
		全国	73.6	77.0	76.4	79.4	75.8
		全国差	△2.3	△0.1	0.8	0.0	1.1
	国語 B	伊丹	58.4	74.8	67.9	49.8	66.8
		全国	60.8	74.5	67.4	51.0	65.8
		全国差	△2.4	0.3	0.5	△1.2	1.0
	数学 A	伊丹	59.6	61.9	64.7	67.9	67.2
		全国	63.1	62.7	63.7	67.4	64.4
		全国差	△3.5	△0.8	1.0	0.5	2.8
	数学 B	伊丹	46.8	57.4	43.7	60.7	42.3
		全国	49.2	56.9	41.5	59.8	41.6
		全国差	△2.4	0.5	2.2	0.9	0.7

全国の平均正答率を 100 とした場合の伊丹市の平均正答率の数値
(国語と算数・数学の合計)

〔小学校〕



〔中学校〕

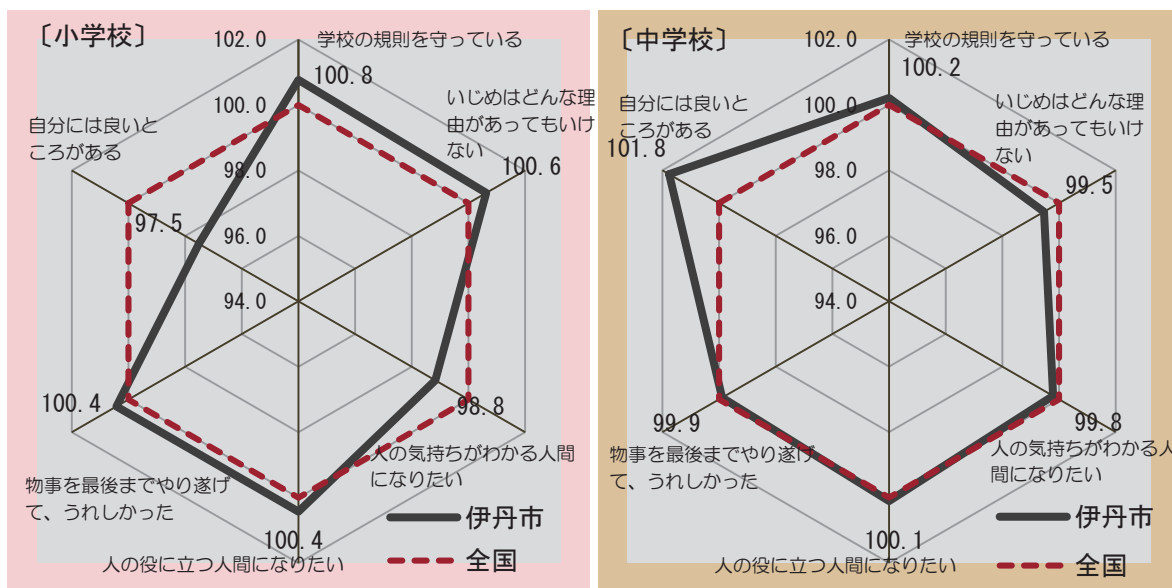


(4) 道徳性に関する調査

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における自尊感情は、小学 6 年生は、全国平均をやや下回り、中学 3 年生は、やや上回っている。

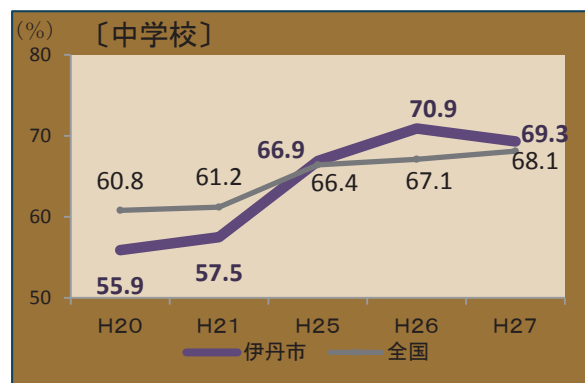
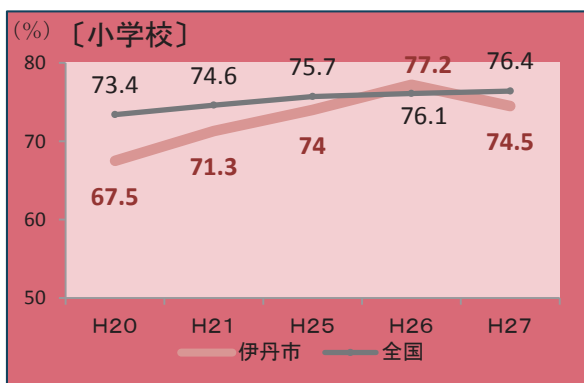
自尊感情は、経年的には、小中学校とも上昇傾向にある。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における道徳性に関する調査結果



平成 27 年度全国学力・学習状況調査における自尊感情に関する調査結果

(質問項目「自分にはよいところがあると思いますか」に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合)



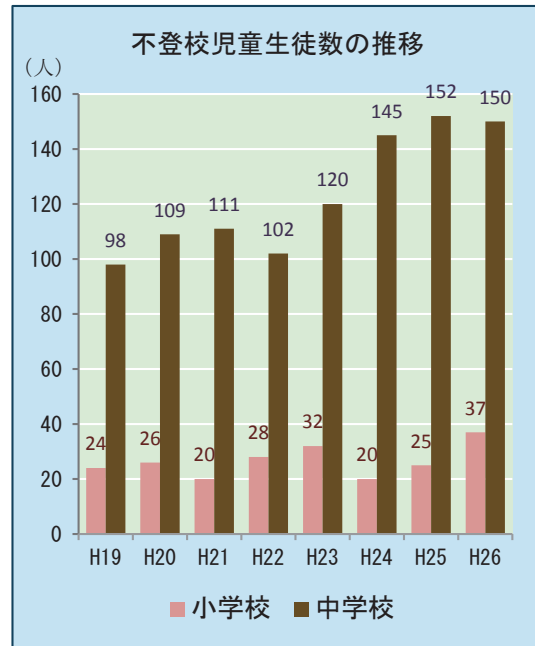
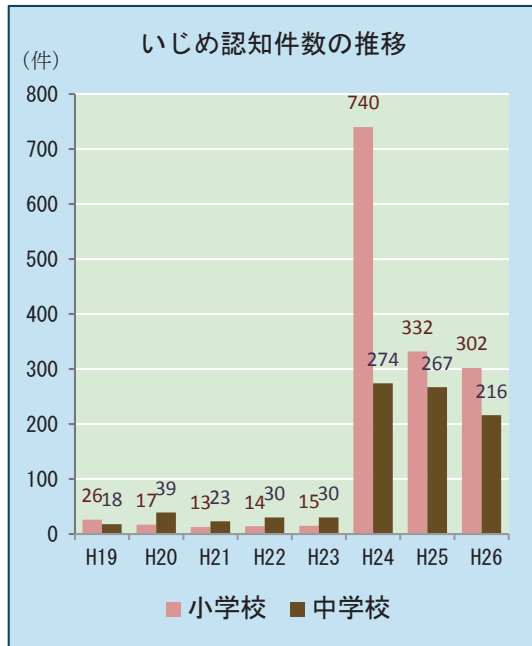
(5) いじめ・不登校・問題行動

市立小中学校におけるいじめ認知件数は、全国的にいじめ問題が課題となった平成24年度に大幅に増加したものの、その後は減少傾向にある。

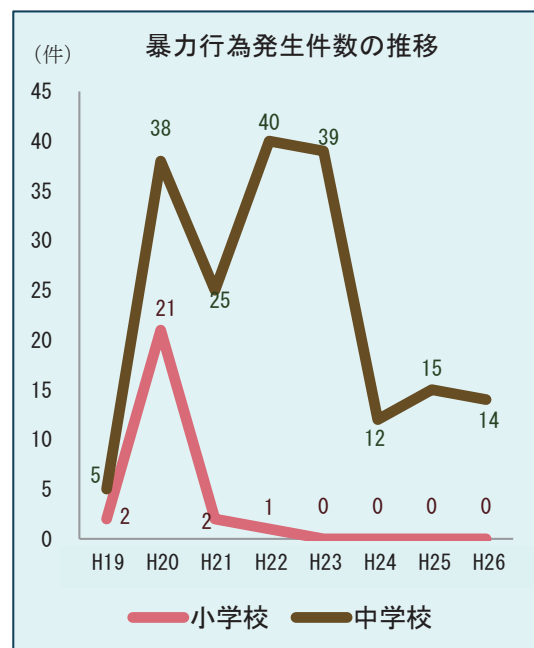
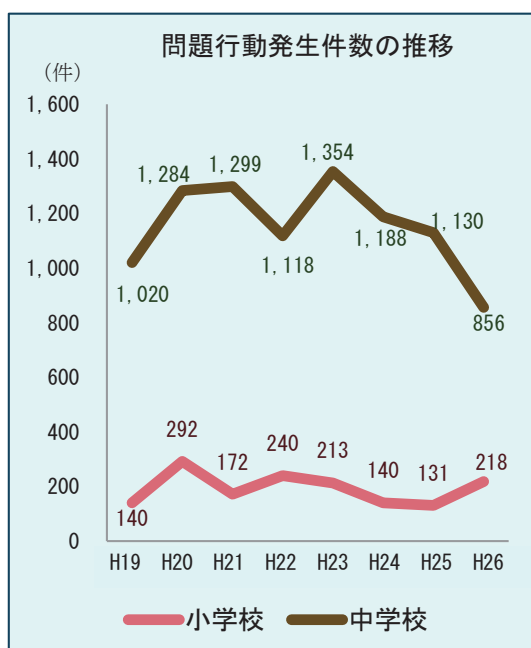
不登校者数については、小学校は横ばいで、中学校においては、増加傾向にある。

問題行動の件数については、小学校は横ばい、中学校は減少傾向にある。暴力行為については、小中学校とも、近年大きく減少している。

いじめ認知件数・不登校児童生徒数



問題行動発生件数

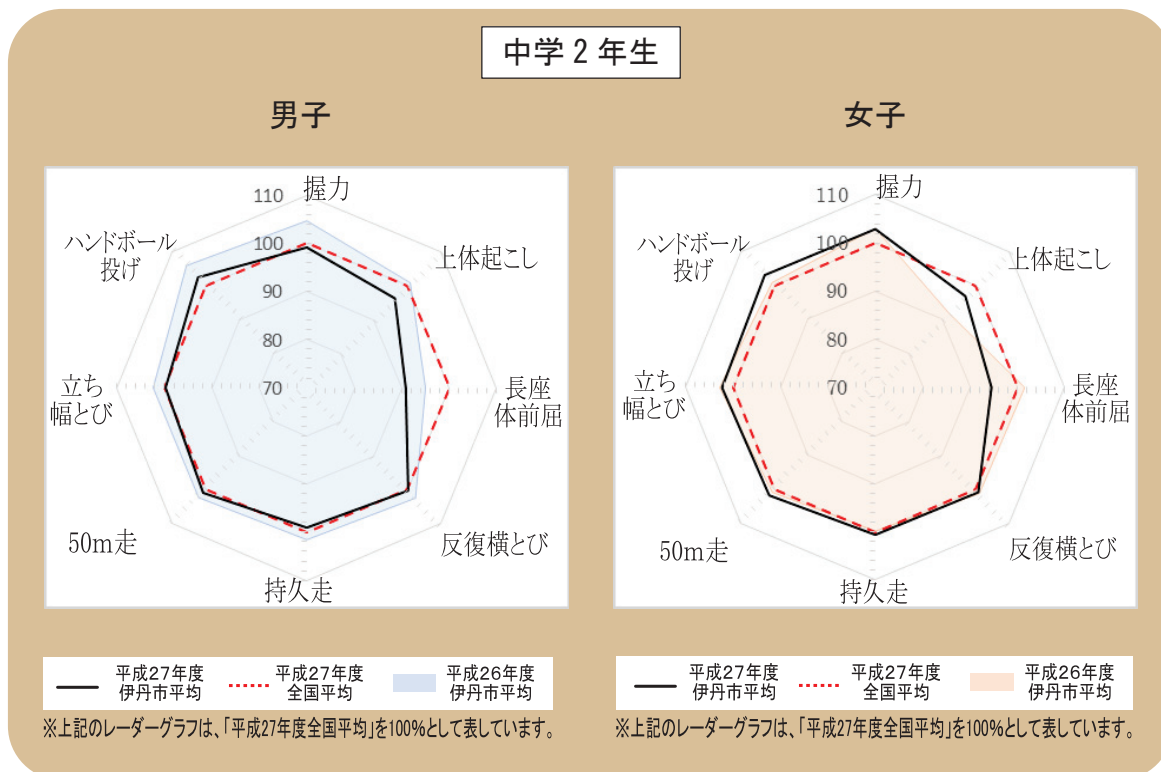
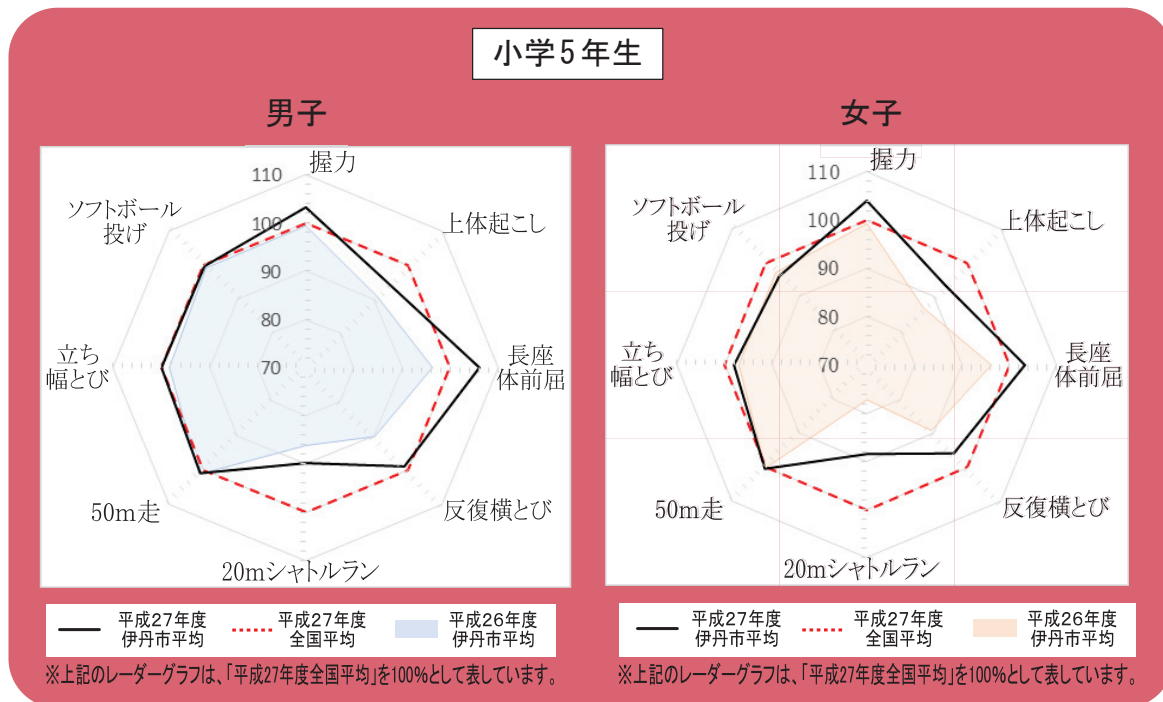


(6) 体力に関する調査

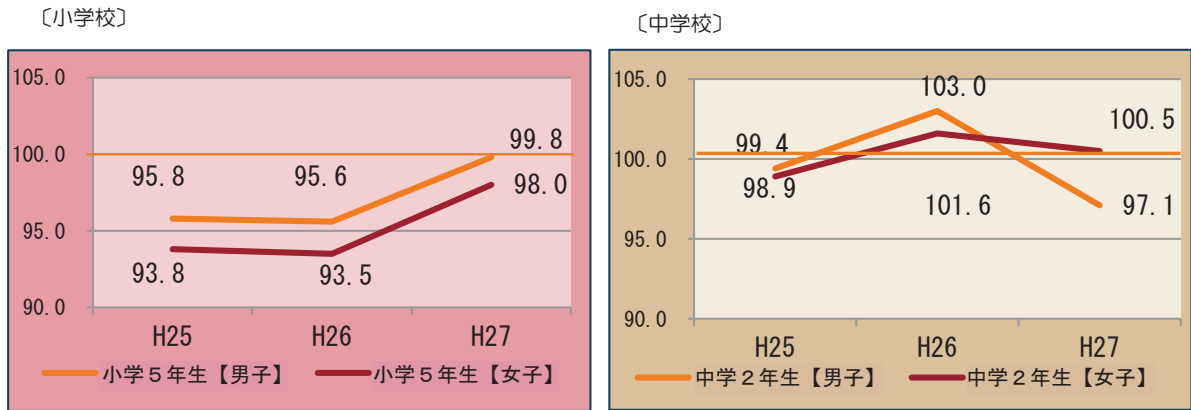
小学5年生男子は、上体起こし（筋力）、20mシャトルラン（持久力）に、女子は、上体起こし（腹筋）、反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（持久力）に課題が見られる。

中学2年生は、男女とも、上体起こし（筋力）及び長座体前屈（柔軟性）に課題が見られる。

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果による全国・県との比較



全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、
 体力合計点の全国平均を 100 とした場合の伊丹市の指数の推移



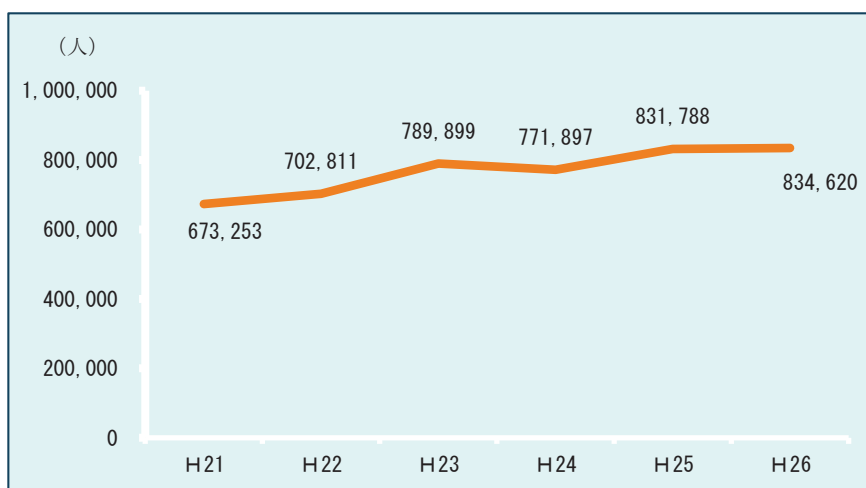
反復横跳びの様子

(7) 社会教育関連施設

① 図書館

利用者数（本館、南・北分館、西・神津分室）は、増加傾向にある。平成 24 年 7 月には、本館「ことば蔵」が中心市街地に移転開館し、平成 26 年度には 834,000 人を超えるなど、過去最高を記録した。

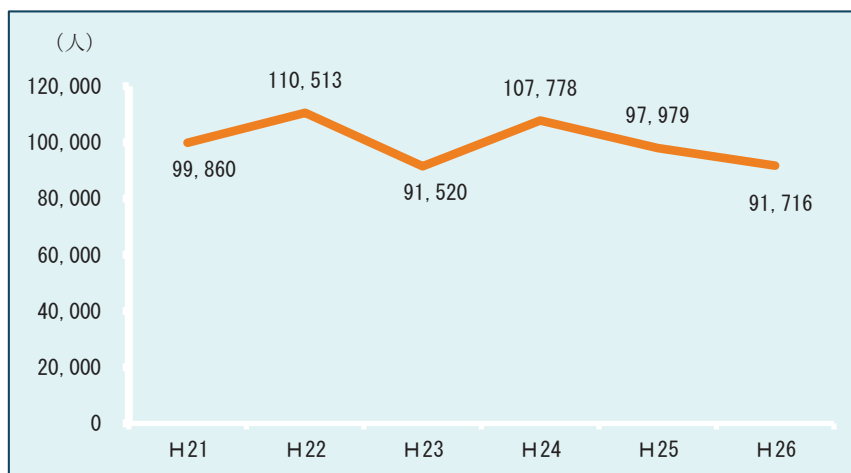
図書館の利用者数等



② 公民館

利用者数は、100,000 人程度で推移している。

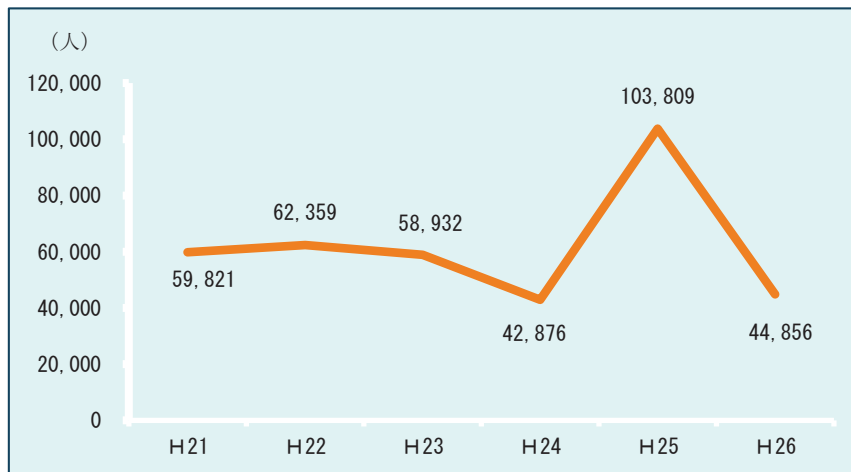
公民館の利用者数等



③ 博物館

60,000 人前後で推移したが、減少傾向にある。(平成 25 年度は、「ことば蔵 1 周年記念展」の開催による)

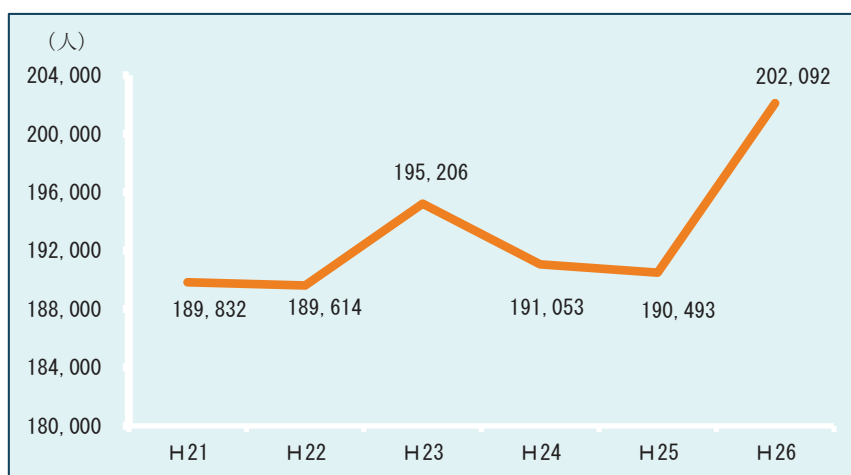
博物館の利用者数等



④ ラスタホール

利用者数は、190,000 人程度で推移してきたが、平成 26 年度に学習室を新設し、増加した。

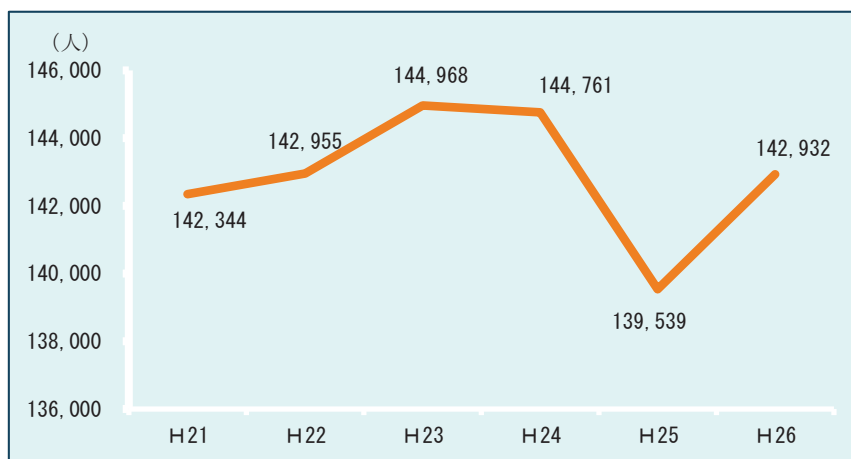
ラスタホールの利用者数等



⑤ きららホール

利用者数は、143,000 人前後で推移している。

きららホールの利用者数等



親子の読書（市立図書館本館「ことば蔵」）

(8) スポーツ関連施設

ローラースケート場、稲野公園、スポーツセンターの利用者数は、全体を通しては増加傾向にある。緑ヶ丘プールの利用者数は、天候に左右されるが、ほぼ横ばいである。

猪名川第 1、第 2、第 3A、第 3B、第 4 が、平成 25 年度、平成 26 年度に大きく減少しているのは、台風被害により、施設が長期にわたり利用できなかったためである。

緑ヶ丘体育館は、第 1 体育館の利用者は、大きく増加しているが、第 2 体育館、第 3 体育館については、少し減少傾向にある。

スポーツ関連施設等の利用人数等

(人)

施設名		項目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
ローラースケート場	大人		8,033	7,666	8,216	8,927	9,446	12,270	545,558
	小人		11,871	11,323	10,856	13,142	14,383	16,288	77,863
小 計			19,904	18,989	19,072	22,069	23,829	28,558	132,421
稲野公園	変形自転車	利用人数	29,815	25,784	24,992	30,323	35,632	41,507	188,053
	運動広場	利用人数	18,286	16,997	17,783	19,136	19,110	18,436	109,748
	卓球場	利用人数	8,968	7,268	7,274	7,102	7,438	7,658	45,708
	ゲートボール	利用人数	4,305	4,300	4,024	3,818	3,971	3,390	23,808
小 計			61,374	54,349	54,073	60,379	66,151	70,991	367,317
緑ヶ丘プール	大人		14,823	17,326	16,037	16,673	16,581	13,657	95,097
	小人		19,406	20,743	18,123	18,440	19,069	15,921	111,702
小 計			34,229	38,069	34,160	35,113	35,650	29,578	206,799
スポーツセンター	体育館全施設	利用人数	118,954	121,673	128,350	141,853	146,314	147,692	804,836
	室内プール	利用人数	56,826	64,390	65,349	66,922	66,684	68,910	389,081
	野球場	利用人数	38,186	40,856	37,754	39,127	33,843	34,807	224,573
	陸上競技場	利用人数	68,820	63,061	64,577	60,759	56,822	53,353	367,392
	テニスコート	利用人数	60,599	58,845	58,747	65,262	62,832	67,041	373,326
小 計			343,385	348,825	354,777	373,923	366,495	371,803	2,159,208
野球場等	市民球場	利用人数	52,310	52,935	41,190	42,815	45,110	52,945	287,305
	猪名川第1	利用人数	23,480	22,370	18,795	19,195	8,975	4,710	97,525
	猪名川第2	利用人数	53,180	28,680	23,030	24,755	10,095	5,450	145,190
	猪名川第3A	利用人数	26,800	28,500	27,215	28,850	15,590	2,730	129,685
	猪名川第3B	利用人数	37,375	42,510	40,055	39,190	19,475	6,320	184,925
	猪名川第4	利用人数	41,450	39,775	36,340	39,040	21,735	6,980	185,320
	古池運動広場	利用人数	42,800	15,120	27,950	29,630	31,215	38,905	185,620
小 計			277,395	229,890	214,575	223,475	152,195	118,040	1,215,570
緑ヶ丘体育館	第1体育館	専用人員	47,797	47,227	47,350	47,452	50,686	63,838	304,350
		個人	1,358	1,757	1,714	1,380	1,615	1,971	9,795
	第2体育館	専用人員	14,537	14,795	14,477	15,796	14,988	13,656	88,249
		個人	2,680	3,249	2,407	1,717	1,347	1,758	13,158
	第3体育館	専用人員	8,225	8,335	8,663	9,423	10,189	8,750	53,585
		個人	571	265	200	124	720	1,221	3,101
小 計			75,168	75,628	74,811	75,892	79,545	91,194	472,238
合 計			811,455	765,750	751,378	790,851	723,865	710,164	4,553,553